

令和 2 年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書
(平成 3 1 年度（令和元年度）事業対象)

美里町教育委員会

— 目 次 —

I	美里町教育委員会事務事業評価の基本方針	・ ・ ・ ・ ・	1 ～ 2
II	教育委員会の活動状況	・ ・ ・ ・ ・	3 ～ 5
III	点検・評価の結果		
	【学校教育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	6
1	学力向上支援事業	・ ・ ・ ・ ・	7
2	学習支援員事業	・ ・ ・ ・ ・	8
3	心の教室、子どもと親の相談事業	・ ・ ・ ・ ・	9
4	学校図書館図書業務支援事業	・ ・ ・ ・ ・	10
5	小学校外国語指導事業	・ ・ ・ ・ ・	11
6	地域学校保健委員会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	12
7	学校部活動補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	13
8	全校体育補助事業	・ ・ ・ ・ ・	14
9	集団宿泊教室事業	・ ・ ・ ・ ・	15
10	芸術鑑賞補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	16
11	学校施設整備事業	・ ・ ・ ・ ・	17
12	特色ある教育推進事業	・ ・ ・ ・ ・	18
	【社会教育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	19
1	人権教育推進協議会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	20
2	青少年育成町民会議補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	21
3	放課後子ども教室事業	・ ・ ・ ・ ・	22
4	歴史探訪講座等の開催事業	・ ・ ・ ・ ・	23
5	美里町文化協会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	24
	【社会体育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	25
1	美里町ナイター陸上記録会	・ ・ ・ ・ ・	26
2	中学校野球美里大会	・ ・ ・ ・ ・	27
3	町民体育祭	・ ・ ・ ・ ・	28
4	美里町駅伝競走大会	・ ・ ・ ・ ・	29
5	美里町新春霊台橋マラソン大会	・ ・ ・ ・ ・	30
6	宇城中学校新人駅伝大会	・ ・ ・ ・ ・	31
7	中学生ソフトテニス美里大会	・ ・ ・ ・ ・	32
8	中学生女子バレーボール美里大会	・ ・ ・ ・ ・	33
9	宇城地区高等学校野球美里大会	・ ・ ・ ・ ・	34

I 美里町教育委員会事務事業評価の基本方針

1. 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表する。

このようなことから、本町教育委員会でも効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、外部評価委員会による教育委員会所管の事務事業の点検を行う。

2. 点検・評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 成果を重視した行政運営を行うため、事後評価を基本とする。
- (2) 評価の客観性、透明性を確保するため外部評価を行う。
- (3) 評価の対象・方法は、毎年度見直しを行う。

3. 点検・評価の対象

- (1) 教育委員会の活動状況
 - ① 定例及び臨時教育委員会の会議状況
 - ② その他の活動状況

- (2) 教育委員会の所管する事務事業

教育委員会が所管する事務事業について教育委員会事務局で協議し、教育委員会で選定する。

4. 点検・評価の手順

- (1) 教育委員及び教育委員会事務局による自己評価
- (2) 外部評価委員による評価
- (3) 報告書の作成
- (4) 教育委員会で報告書の作成
- (5) 議会への提出及び公表

5. 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により有識者の知見の活用については、点検・評価（自己評価）の結果について、学識経験者を含む5名の外部評価委員に、対象事業についての意見をいただく。

外部評価委員名簿

長 木 高 義	吉 住 大 輔	井 上 正 広
林 田 眞 典	田 村 陽 子	

6. 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会として今後の方向性を下記5つの中から選択する。

拡 充	事業規模・内容をより拡大・充実し継続すべき事務事業
維 持	概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
縮 小	現在の方向性でよいが、事務規模については縮小方向で改善していくべき事務事業
改 善	現在の方向性から見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
完 了	完了した事務事業

(参考)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務職員等に委任された事務を含む）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 教育委員会議の開催状況

1 教育委員会議

美里町教育委員会会議は、毎月 1 回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、5 名の教育委員（教育長 1 名を含む）が教育行政の基本方針や教育委員会の規則等の制定改廃など、会議において議決を要する事項について次のとおりです。

平成 31 年度（令和元年度）の教育委員会議の開催状況は次のとおりです。

期 日	場 所	議 決 事 項 等
平成 31 年 4 月 22 日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町立小中学校の主任等の任命について ・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・平成 31 年度美里町学校教育取組の方向(協議) ・平成 31 年度美里町社会教育取組の方向(協議)
令和元年 5 月 23 日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町いじめ問題対策連絡協議会設置条例の制定について ・美里町いじめ防止対策審議会設置条例の制定について ・美里町いじめ調査委員会設置条例の制定について ・美里町社会教育委員の委嘱について ・美里町公民館運営審議会委員の委嘱について ・学校訪問実施要項(案)について(協議)
令和元年 6 月 27 日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・専決処分事項(美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定)の報告及び承認を求めることについて ・美里町教育振興基本計画推進委員の委嘱について ・学校訪問実施要項について(協議) ・美里町いじめ防止基本方針及び関係条例について(協議)
令和元年 7 月 22 日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則の制定について ・美里町小学校運動部活動社会体育移行検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について ・美里町小学校運動部活動社会体育移行検討委員会委員の委嘱について

令和元年 8月7日 (臨時会)	中央庁舎 第1会議室	・令和2年度使用小学校教科用図書の採択について ・令和2年度使用中学校教科用図書(特別の教科道徳を除く)の採択について ・美里町小学校運動部活動社会体育移行検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について ・美里町小学校運動部活動社会体育移行検討委員会委員の委嘱について
令和元年 8月21日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・議案及び協議事項なし
令和元年 9月20日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・専決処分事項(令和元年度美里町就学指導委員会にかかる就学答申)の報告及び承認を求めることについて ・令和元年度美里町就学指導委員会にかかる就学答申について ・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町英語検定料補助金交付要綱の制定について
令和元年 10月21日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について ・美里町子どもの人権相談員設置要綱の制定について ・美里町子どもの人権相談員の任用について
令和元年 11月25日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の決定について
令和元年 12月19日 (定例会)	中央庁舎 第1会議室	・美里町小中学校通学費補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
令和2年 1月20日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・教育長職務代理者の指定について ・令和元年度美里町就学指導委員会にかかる就学答申について ・美里町公害対策審議会委員の推薦について(協議)
令和2年 2月19日 (定例会)	中央庁舎 第1会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

令和2年 2月 29 日 (臨時会)	中央庁舎 教育長室	・令和2年度教職員人事異動の内申について
令和2年 3月 24 日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について ・美里町立小中学校評議員の委嘱について ・美里町文化財保護委員の委嘱について

2 その他の活動状況

平成 31 年度（令和元年度）における、その他主な活動は次のとおりです。

- ・スクールバス運行審議会
- ・美里町教育委員研修
- ・熊本県市町村教育委員大会
- ・宇城市町教育委員全員研修会
- ・九州地区市町村教育委員会研修大会
- ・各小中学校訪問
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各小学校運動会、各中学校体育大会、文化祭（学習発表会）
- ・町成人式典
- ・美里町教育の日講演会
- ・美里町文化祭
- ・町民体育祭他各種イベント事業への出席

美里町教育委員会委員名簿

(令和 2 年 4 月 1 日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	吉 永 公 力	令和元年 12 月 23 日～令和 4 年 12 月 22 日
教育長職務代理者	野 尻 絹 子	令和元年 12 月 23 日～令和 5 年 12 月 22 日
委 員	松 本 富美代	平成 29 年 12 月 23 日～令和 3 年 12 月 22 日
委 員	佐々木 聡	平成 28 年 12 月 23 日～令和 2 年 12 月 22 日
委 員	北 原 和 子	平成 30 年 12 月 23 日～令和 4 年 12 月 22 日

Ⅲ 事務事業外部評価点検・評価の結果

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	学校教育係	学力向上支援事業	児童生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする。	2,800,800
2	学校教育係	学習支援員事業	特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童生徒に、学級の担任と協力し学習支援を行う。	22,630,124
3	学校教育係	心の教室、子どもと親の相談事業	悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。	1,983,237
4	学校教育係	学校図書館図書業務支援事業	各学校図書館の業務支援のため、図書司書補等を配置し、児童生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。	6,880,000
5	学校教育係	小学校外国語指導事業	児童が英語に接し、低学年から英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。	2,750,420
6	学校教育係	地域学校保健委員会補助金事業	学校、地域、家庭の連携のもと、子どもの健康な生活と教育の推進を図るため、中学校区で委員会を設置し活動する。	80,000
7	学校教育係	学校部活動補助金事業	生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。	693,000
8	学校教育係	全校体育補助事業	児童が適切な運動の経験をすることと、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、健康の保持増進と体力の向上を目的とする活動における経費の一部を補助する。	162,000
9	学校教育係	集団宿泊教室事業	児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。	507,475
10	学校教育係	芸術鑑賞補助金事業	演劇を鑑賞することによって、心身の調和のとれた発達と人間としての生き方について自覚を深める事業に補助する。	318,600
11	学校教育係	学校施設整備事業	計画的に学校の維持補修等を行うことで、児童生徒等の安全を守り、安心で豊かな教育環境を整備する。また、地域住民の安全と安心の確保に努める。	16,383,458
12	学校教育係	特色ある教育推進事業	町内小中学校における学校及び地域の特性を生かした特色ある教育活動へ積極的な取り組みを推進する学校に対して、その経費を予算の範囲内で補助する。	500,000

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学力向上支援事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童・生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする		
活動内容	①美里町第2次教育振興基本計画の本年度の重点事項の策定と実践、推進委員会の開催による点検評価及び次年度に向けての対策 ②教育審議員による定期的な授業改善指導訪問(延べ67回の授業指導の学校訪問及び延べ108本の授業参観指導) ③学校の校内研修の研究授業参観と授業研究会での助言 ④教育委員会学校訪問における学校との打ち合わせ及び訪問時の全体会での指導・助言 ⑤「美里町学校教育の取組の方向」、「美里町学力向上アクションプラン」の策定 ⑥学期ごとの学力向上アクションプランの点検・評価(毎学期) ⑦教育委員会議、町内校長会議での学力充実等の説明 ⑧美里町学力向上推進委員会の取組の充実(年間2回の全体会、年間2回の中学校校区ごとの小中連携授業改善研修会の開催) ⑨「教育美里」の発行(授業改善や教育動向の啓発、教育課題や教育資料の紹介など) 第116号～127号の年間12号の発行 ⑩「全国学力学習状況調査」及び「県学力調査結果」の分析・考察と各学校への情報の提供 ⑪宇城地区指導主事・教育審議員等連絡会(年間3回)への出席 ⑫宇城地区学力向上対策会議(年間2回)への出席 ⑬宇城地区教育論文・実践記録の第1次審査の担当		
予算額 決算額	予算額 2,801,000 円	決算額 2,800,800 円	
担当課	●「第2次教育振興基本計画」(2018年度～2022年度)による本町教育の取組が、2年目を迎えた。学力充実については、「美里町学力向上アクションプラン」として、29項目の取組事項を設定し、学力向上支援に取り組んだ。 ●学力向上の取組の点検・評価については、学期末ごとに美里町学力向上アクションプランを各学校の先生方に自己評価してもらい、PDCAサイクルによる学力向上の推進に努めた。1学期末に比べて2学期末には、29項目中27項目で自己評価の上昇が見られた。特に、毎時間の「めあての提示」や「しっかり教える場の設定」に関しては、評価が高く、先生方の意識の高さが窺えた。 ●令和元年12月実施の熊本県学力調査では、各学年の各教科を総合した定着率の平均では、小学校は県平均とほぼ同じで、中学校は県平均を上回った。教科別では、小学校国語、算数とも県平均とほぼ同じであった。中学校では、国語が3.6%、英語が7.8%県平均を上回ったが、数学は県平均をわずかに0.2%下回った。 ●令和2年度より、小学校は新学習指導要領が全面实施となる。中学校は、その翌年である。新学習指導要領のキーワードは、「主体的・対話的で、深い学び」であり、学校現場でも、新しい指導要領の考え方の研修を進めてきている。教育委員会としても、「新学習指導要領がめざすもの」「子ども主体の授業作り」等に関する内容の「教育美里」を作成し、学校に届けることができた。 ●美里町学力向上委員会の取組の一つである年2回の中学校校区ごとの授業研究会を実施した。小中の先生方がともに研修する貴重な機会として、また情報交換の場として大変有効な時間となった。		
自己評価			

(外部評価委員の意見) ・財政的にも厳しいと思われるが、ぜひ継続して欲しい。審議員訪問は、教師の意識改革にぜひ必要である。 ・児童生徒の学力向上のために、様々な方法を用いて取り組んでほしいと思う。小中の先生方が一緒になって研修を行い、情報交換の場をもてることは大変評価できると思う。 ・熊本県学力調査の結果の中で、中学校の英語が、県平均を7.8%上回っている。昨年の12%から下がったが評価できる。できれば、他の教科も頑張っていたきたい。 ・教師の指導力により児童生徒の学力に大きな影響を与えられ。今後も事業の継続は、必要だと思う。 ・教師の指導力向上への取組や新学習指導要領の作成等の実績が評価できる。			
---	--	--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学習支援員事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童生徒に対し、一人一人の教育ニーズに応じた指導を、学級担任と協力して学習支援を行い自立できるよう支援する。		
活動内容	・町内5校の小・中学校において、学習支援員(外国語指導助手、医療的支援含む)11名の非常勤職員を配置し、(砥用小2名・励徳小2名・中央小3名・砥用中2名・中央中2名)学級担任と協力し、取り出し指導等を行った。勤務時間は週29時間勤務である。令和2年度からは会計年度任用職員となり週30時間勤務となる。 R1.8.9「児童生徒とのコミュニケーションの方法や特別支援教育」について 講師:宇城教育事務所 篠塚佳枝 SSW		
予算額 決算額	予算額 20,000 円(活動費) 22,641,000 円(賃金)	決算額 0 円(活動費) 22,630,124 円(賃金)	
担当課 自己評価	担任以外に非常勤職員を配置することにより、発達障がいを含む障がいのある児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、よりきめ細かで適切な教育的支援を図ることによって児童生徒の自立に繋がっている。 また、昨年度の評価委員の指摘事項であった、学習支援員の資質の向上を図る研修については、今年度はコロナの影響で開催していない。		

(外部評価委員の意見)

- ・学習支援員の先生方は、担任教師にとっては非常にありがたい存在である。きめ細やかな支援のためにもぜひ継続してほしい。
- ・個人差に応じた指導のために今後も学習支援員の資質向上に努めて頂きたい。
- ・きめ細かな支援ができる必要な事業である。学級担任と協力して、児童生徒の支援に努めて頂きたい。
- ・複式学級の場合、学習支援員の配置により学力低下を防ぐことができると思う。児童生徒の自立した学習への取り組みも必要であり、事業の継続を願う。
- ・非常勤職員を配置し児童生徒に対しきめ細やかな教育支援が必要と思われる。また、学習支援員の資質向上については、今後も努めていただきたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	心の教室、子どもと親の相談事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。		
活動内容	・小学校2校(砥用小1名、中央小1名)、中学校2校(砥用中・中央中1名兼務)にそれぞれ配置し(合計3名)、人間関係や生活習慣等に悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努めた。 ・小学校勤務の子どもと親の相談員の勤務時間を、年間480時間の勤務の中で、子どもや保護者との面談、また相談内容によっては、SCやSSWとの連携を図り、きめ細かな支援ができた。 ・年間480時間程度勤務(約週12時間、月48時間程度の勤務目安) ・児童生徒の問題解決のための研修会を実施した。 R1.8.9「児童生徒とのコミュニケーションの方法や特別支援教育」について 講師:宇城教育事務所 篠塚佳枝 SSW		
予算額 決算額	予算額 20,000 円(活動費) 2,018,000 円(賃金)	決算額 0 円(活動費) 1,983,237 円(賃金)	
担当課 自己評価	悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努め、保護者と連携強化を図ったことで、悩みや不安の軽減あるいは解消につながっている。 平成28年熊本地震による中長期的な心のケアが必要な児童生徒が継続しているため、本年度も個人面談をすることによって、一人一人の状況把握とケアを行うことができた。令和2年度に至っては、新型コロナの影響で不安を抱えている児童生徒の相談に応じている。 また、昨年度の指摘事項であった、校長の判断で勤務時間を増やすシステムの構築については、予算が必要なため、財政部局と協議が必要である。		

(外部評価委員の意見)	
・子どもと担任をつなぐ役割としてとても重要である。保護者との連携をどのようにスムーズに図っていくかが課題である。 ・子どもたちの不安や悩みは複雑で家庭や友人に相談できない時、話を聞いてもらえる先生がいることは安心につながると思う。誰でも気軽にどんな事でも相談できる環境づくりが最も重要だと考える。 ・悩みや不安を抱える児童生徒の相談を受け、相談員と児童生徒・保護者が良好な関係で、悩みや不安を解消につなげて頂きたい。 ・児童生徒や保護者が、悩みや不安を相談できる環境は必要であり、相談することで悩みや不安の軽減に繋がることは、効果的な事業だと思う。 ・人間関係や生活習慣等に悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、担任以外に相談できる環境は必要と思われる。	

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校図書館学校司書業務支援事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・各小中学校図書館の業務支援のため、学校図書管理員を配置し、児童生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。		
活動内容	・各小中学校図書館へ非常勤の学校図書管理員(各学校1名で計5名)を配置し、学校図書館の整理や児童生徒の図書利用の拡大を図る為の年間取組計画(各学校教育諸計画の図書館教育)の作成や、図書活動支援を行った。 ・平成29年度より、リーダー的存在となる学校図書管理員を学校図書指導員と位置づけ、各小中学校の図書指導巡回を行っている。今年度は新型コロナの影響で今のところ、実施できていない。 ・R1.8.2 学校司書研修会 町内学校の学校図書館(図書室)の環境整備等について共通理解を図った。今年度は、新型コロナの影響で開催できていない。		
予算額 決算額	予算額 0 円(活動費) 6,880,000 円(賃金)	決算額 0 円(活動費) 6,880,000 円(賃金)	
担当課 自己評価	学校図書館の業務は、児童生徒の読書活動支援に不可欠であり、主体的学習を援助し、図書館の整理、保管に必要な業務である。 また、職員自身も司書資格を取得するなど自己研鑽をはかり、現在司書3名、司書補1名となり、図書利用をさらに進める体制が確立している。		

(外部評価委員の意見)

- ・図書館運営と図書教育を進めていくためには、学校図書管理員の確保は絶対不可欠だと思われる。教員による兼務は不可能である。
- ・これからも児童生徒のために、図書支援活動を継続していただきたい。
- ・児童生徒への読書活動支援の様子がうかがえる。図書館職員の連携を図りながら、読書活動を進めて頂きたい。
- ・子どもたちが、本に親しみ読書をすることは、学力向上の基礎であるため、図書館の環境整備や読書活動支援は必要だと思います。
- ・図書館の管理や児童生徒の図書利用の拡大には学校司書の配置は必要と思われる。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	小学校外国語指導事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・低学年から英語に接し、英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。		
活動内容	・小学校の全学年を対象に、非常勤の外国語指導助手2名(1名は学習支援員を兼任)を配置する。担任と協力し、楽しく基本的な英語活動を行う中で、コミュニケーション能力の育成を図る。また、新学習指導要領の先行実施により、3,4年生は年間35時間の「外国語活動」、5,6年生は教科「外国語科」として年間70時間の時数を確保している。また、授業には外国語指導助手やALTが参加し、担任の助手として、子ども達に外国語によるコミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成に関わっている。 ・夏休みには、他の学校の児童や、多くのALTと一緒にイングリッシュキャンプを実施し、英語を通じた国際理解を深める活動を行った。		
予算額 決算額	予算額 173,000 円(活動費) 2,578,000 円(賃金)	決算額 172,820 円(活動費) 2,577,600 円(賃金)	
担当課 自己評価	英語を通じて、外国の言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っている。宇土市と合同開催しているイングリッシュキャンプでは、参加した子どもたちが活発に発言等している姿がみられる。		

(外部評価委員の意見)

- ・担任が授業をする上で教材の準備や授業への助言など担任には、サポートがぜひ必要な職務なので継続してほしい。
- ・小学校から外国語にふれることはとても意義がある。低学年から実施できればもっと有効であると考え。いまは英語を習い事としている児童もいると聞いたので、児童が興味をもてるような授業をお願いしたい。
- ・早い時期から英語に接する事で、興味・関心を持ち、英語力を身につける必要な事業である。熊本県学力調査の結果にも繋がっていると思われる。
- ・低学年から英語に触れ英会話能力を身につけることは、大切なことであり、児童が楽しみ興味を持つ授業に期待します。
- ・低学年から英語に接する事で国際社会に対応できる人材の育成に繋がっていると思われる。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域学校保健委員会補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・学校、地域、家庭の連携のもと、中学校区で設置された学校保健委員会により、児童生徒の健康な生活と教育の推進を図る。		
活動内容	・各中学校区において地域学校保健委員会を設置し、学校、地域、家庭の連携のもと、児童生徒の健康な生活と教育の推進を図った。 ・平成29年度より、教育の日講演会を両地域学校保健委員会、美里町PTA連合会と合同で開催実施している。 ・中央中校区において、講師を招いて保・小・中連携として、特別支援教育関係の講演会を開催した。 (決算額内容) 保小中連携研修会講師謝礼 20,000円 事務費 20,000円(切手、用紙代他) ・砥用中校区においては、運営委員会4回、すこやか委員会2回を開催し、すこやか委員会の1回目に講話式の研修会、2回目は教育の日講演会合同開催としている。 (決算額内容) 講師謝礼 15,000円 事務費 14,857円(用紙代) 雑費他 10,143(万歩計他) ※今年度(R2)は、新型コロナの影響で研修会は開催できていない。		
予算額 決算額	予算額 80,000 円(補助額)	決算額 砥用地区 中央地区	 40,000 円 40,000 円
担当課 自己評価	地域内の学校保健に関する問題点の解明に関係機関との連携を密にし、児童生徒の豊かな健康生活の向上に寄与している。また、就学時の情報共有にもなり、児童生徒への対応へも繋がっている。		

(外部評価委員の意見)

- ・学校だけでなく地域全体で子どもたちの健全育成を図っていく上でタテとヨコのつながりを組織していくことができる。
- ・今後も学校、家庭、地域、行政が連携して児童生徒の健康生活の向上に努めていただきたい。
- ・地域との連携のもとに、さらなる児童生徒の健康な生活と教育の向上に努めて頂きたい。
- ・学校、地域、家庭の連携が図られ、児童生徒の健康向上に努められている。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校部活動補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・生徒の協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。		
活動内容	・砥用中(5部) 315,000円補助(63,000円×5部) 野球部16人、サッカー部26人、柔道部(休部)、剣道部11人、陸上部25人、バレー部14人 ・中央中(6部) 378,000円補助(63,000円×6部) 野球部13人、テニス部20人、サッカー部17人、バレー部21人、文化部15人、陸上部 ※補助金の主な支出内容は、試合参加費負担金、及び道具類の購入 ※小学校はH30年度より社会体育へ移行		
予算額 決算額	予算額 693,000 円(補助額)	決算額 砥用中 315,000 円(5部) 中央中 378,000 円(6部) 693,000 円	
担当課 自己評価	部活動をととして、体力の向上と技能の習熟、人間力向上を図っており、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力、コミュニケーション能力を育むためにも必要であり、保護者の経済的負担軽減につながっている。 小学校については、社会体育移行により部活動補助から全校体育補助へ変更した。		

(外部評価委員の意見)

- ・生徒数が減少する中で部の存続も難しくなっていくことが考えられるが、現状にあった補助により、生徒、保護者の支援を行っていただきたい。
- ・少子化等による将来的な見通しも考えながら、生涯にわたってスポーツに親しみ、能力を育むために必要な事業であると思われる。少しでも、保護者の負担を軽減してほしい。
- ・保護者の負担軽減に必要な事業だと思う。
- ・部活動は人間形成にも必要であり、保護者の経費軽減のためにも必要と思われる。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	全校体育補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童が適切な運動の経験をすることと、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を目的とする。		
活動内容	・砥用小 54,000円補助 5-6月:ソフトバレー 6-8月:水泳、陸上 9-10月:陸上 11-12月:持久走、ミニバス、ハンドベースボール、サッカー 1-3月:陸上、サッカー、ミニバス ・励徳小 54,000円補助 (ラジオ体操、体ほぐし運動、体づくり運動、ボールを使った運動、投てき運動、長縄跳び) (各月、毎週木曜日の業間で実施) ・中央小 54,000円補助 5月:運動会練習 6-7月:水泳、ボール運動、鉄棒、一輪車など 9-3月:陸上、持久走、ボール運動、鉄棒、縄跳び、幅跳び、竹馬など (毎月、第4週目の木曜日 業間:13:45~14:00、毎朝の運動タイム:8:00~8:15で実施) ※小学校部活動はH30年度より社会体育へ移行		
予算額 決算額	予算額 162,000 円(補助額)	決算額 54,000円×3校 162,000 円	
担当課 自己評価	学校部活動が社会体育へ移行した平成30年度から、クラブに加入し運動している児童と、加入しない児童の運動(体格)格差が出てきている。また、この時期に運動の経験をしなければ、生涯にわたって適切な運動の経験のない大人へ成長する可能性もあるため学校全体で取り組む全校体育は必要である。		

(外部評価委員の意見)

- ・子どもが興味関心をもって運動できるための環境づくりのために必要である。
- ・児童の将来のためにも体を動かす機会は重要であると考え。各小学校で、工夫して実施されている。先生方の負担にならないように継続していただきたい。
- ・体力向上の目的で全校体育は必要であると思う。何かと経費は必要なので補助金はありがたい。
- ・部活動の社会体育への移行により、運動不足の児童が見受けられると聞く、体力の向上や健康保持のため全校体育の取り組みは必要な事業だと思う。
- ・児童が多様な運動に接する事は必要と思われる。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	集団宿泊教室事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。		
活動内容	・中学校1年生、小学校5年生を対象に少年自然の家等を利用し、集団生活を通して基本的な行動様式の定着を図るとともに、野外活動を通して心身の鍛錬を行った。 ・小学校の主な活動(1泊2日) マリン活動、ナイトハイク、サンドアートなど 砥用小学校:あしきた青少年の家(68,357円) 励徳小学校:あしきた青少年の家(27,655円) 中央小学校:あしきた青少年の家(112,330円) ・中学校の主な活動(2泊3日) 交流活動(各種ゲームなど)、ハイキング、キャンドルの集い、防災プログラムなど 砥用中学校:豊野少年自然の家(144,056円) 中央中学校:豊野少年自然の家(155,077円) ※今年度(R2)は新型コロナの影響で開催は出来ていない。		
予算額 決算額	予算額 小学校 218,000 円 中学校 301,000 円	決算額 小学校 208,342 円 中学校 299,133 円	
担当課 自己評価	集団生活を通して基本的な行動様式が図られている。 また、小小連携、中中連携により合同開催で活動を行ったが、町内の児童生徒が学校間を超えた繋がり、ふれあいを通し、相互の親睦を深めることができた。		

(外部評価委員の意見)

- ・学校では体験できない集団生活であるので、ぜひ継続してほしい。
- ・学校では得られない貴重な体験ができる機会であり継続してほしい。
- ・集団生活・野外活動の中で多くのことを学び、体験する機会は、必要だと思う。
- ・他校の生徒とのふれあいなど、集団生活を体験することは貴重だと思う。
- ・学校生活では得られない野外活動や小小連携、中中連携が実施され意義のある事業と思われる。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	芸術鑑賞補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・演劇を鑑賞することにより、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を構築する自主的、実践的な態度を育てるとともに自己を生かす能力を養う。		
活動内容	・小中学校で実施する演劇鑑賞の事業に対して経費の補助を行う。 中央小学校:ウイングアンサンブル(金管アンサンブル 60分公演) 111,600円 砥用中学校:劇団「民話芸術座」・・・民話劇『銀河鉄道の夜』 129,280円 中央中学校:劇団「天然木」・・・ミュージカル「ビー子は飛んでいった」 100,000円 (いきいき芸術体験教室事業) 砥用小学校・励徳小学校合同開催 Viento風の音楽(うた)コンサート 公益財団法人 日本教育公務員弘済会負担額 35,000円 市町村負担額 35,000円 合計70,000円 ・町補助(1人当たり1,000円予算)にて事業実施 ※今年度(R2)は、新型コロナの影響で開催を検討したが、全学校開催予定としている。		
予算額 決算額	予算額 小学校 112,000 円 中学校 207,000 円	決算額 小学校 111,600 円 中学校 207,000 円	
担当課 自己評価	小中学校で実施する演劇、音楽鑑賞等の優秀な文化・芸術に親しみ、また、触れる機会を提供し、感性や教養、「豊かな心」の育成につながっている。 また、砥用小、励徳小は合同で「いきいき芸術体験教室事業」の採択により、少ない予算で、学校間連携が図られた。		

(外部評価委員の意見) ・地域的全体的にもなかなか体験できないので、継続してほしい。 ・児童生徒が様々なものに触れ、感じることは自分の将来について考えるきっかけとなると考える。予算の範囲内で工夫して継続していただきたい。 ・演劇や音楽鑑賞ができる有意義な機会であると思われる。 ・演劇を鑑賞する機会が少ない子供たちにとっては、貴重な体験だと思う。各学校ごとでなく、合同の実施でも良いのではないか。 ・芸術鑑賞に接する機会が少ない児童生徒には文化・芸術に親しむ事は意義あるものと思われる。	
--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校施設整備事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・建設後20年を経過する校舎や屋内運動場等もあり、安全面をはじめ環境衛生面、地域の避難施設等の観点から施設の維持補修や改修工事を計画的に実施し、適切な維持管理に努める。		
活動内容	(H30繰越事業)R1完了 砥用小学校:空調機設置工事(40,597,818円) 屋内運動場トイレ改修工事(7,284,556円) 励徳小学校:空調機設置工事(50,409,914円) 中央小学校:空調機設置工事(57,326,400円) 砥用中学校:空調機設置工事(91,914,257円) 中央中学校:空調機設置工事(61,506,000円) (R1主な事業) 中央小学校:校舎廊下ノンスリップ化工事(4,697,000円) 砥用小学校:プール配管改修工事(2,721,600円) 砥用中学校:防球ネット改修工事(2,967,000円) 中央中自転車置き場改修工事(1,955,800円) (R2主な事業) 校内通信ネットワーク整備工事(41,552,500円)R1繰越 中央小学校:プレハブ棟校舎防水工事(1,285,020円) 砥用小学校:玄関スロープ屋根工事(982,300円) 励徳小学校:3階教室壁改修工事(2,024,000円) 砥用中学校:スクールバス駐車場等整備工事(2,010,800円)		
予算額 決算額	予算額 小学校 11,470,000 円 中学校 4,936,000 円	決算額 小学校 11,460,658 円 中学校 4,922,800 円 (H30繰越事業費除く)	
担当課 自己評価	学校施設は、児童生徒等の学習・生活の場であり、公教育を支える基本的施設であるとともに、地域住民にとっては身近な公共施設として、また、災害発生時の避難場所ともなる施設として重要な役割を担っている。 計画的に学校の維持補修等を行うことで、児童生徒等の安全を守り、安心で豊かな教育環境が整備できている。また、地域住民の安全と安心の確保に繋がった。		

(外部評価委員の意見)

- ・児童生徒が安心して学校生活が送れるような環境づくりが必要であると考え。計画的に行っていただきたい。
- ・学校施設の環境改善のための整備は、重要不可欠である。今後も安全で安心できる施設を望む。
- ・施設整備は、児童生徒や地域住民の安全安心に必要不可欠であると思う。
- ・中長期的な取組により適切な維持管理に努められている。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	特色ある教育推進事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・町内小中学校における学校及び地域の特性を生かした特色ある教育活動へ積極的な取り組みを推進する学校に対して、その経費を支給し、特色ある教育の推進を図ることをも目的とする。		
活動内容	・創意工夫を生かした学校教育の充実と児童生徒の体験的学習活動の充実を図るため、各学校長の裁量を発揮した特色ある教育推進を行った。 ○砥用小学校 いのちの講話、校内研修外部講師招聘、理科教育の充実、学校環境整備など ○励徳小学校 茶道教室、そば打ち体験、ICT機器の活用、指導力向上外部講師招聘、学習ボランティアなど ○中央小学校 保小中連携外部講師招聘、全校児童講話外部講師招聘、和菓子作り、茶道体験など ○砥用中学校 不登校生徒支援事業、校内花いっぱい推進事業、校内ハローワーク事業、伝統文化継承事業など ○中央中学校 教職員スキルアップ事業、保小中連携外部講師招聘、文化体験事業、環境整備事業など		
予算額 決算額	予算額 500,000 円(補助額)	決算額 500,000 円	
担当課 自己評価	各学校長の裁量を発揮しながら、各学校それぞれ地域の特性を生かした、特色ある教育活動の推進に取り組まれており、この事業は各学校において重要である。		

(外部評価委員の意見) ・学校としては、非常にありがたい事業なので継続してほしい。 ・各学校、地域性を生かして児童生徒の記憶に残るような授業、体験を実施していただきたい。 ・各学校で工夫して、特色ある教育活動を推進することは重要である。とても良い取り組みだと思う。 ・各学校において特色のある事業が実施されており継続は必要だと考える。 ・充実した学校教育への一環として特色ある教育活動への取組は必要と思われる。	
--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	社会教育係	人権教育推進協議会補助金事業	町内における人権教育の推進を図ることを目的とする。	100,000
2	社会教育係	青少年育成町民会議補助金事業	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る	256,000
3	社会教育係	放課後子ども教室事業	放課後等において、小学校の施設等を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	934,822
4	社会教育係	歴史探訪講座等の開催事業	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対する理解と関心が高まるよう歴史探訪講座(生涯学習講座)や説明会・研修会を開催する。	15,000
5	社会教育係	文化協会補助金事業	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。	325,000

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	人権教育推進協議会補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	町内における人権教育の推進を図ることを目的とする。		
活動内容	人権教育の研究と実践及び各種研修会の開催と各種研修会への派遣。 人権教育の研究と実践については、令和元年7月24日に、町人権教育推進協議会・町青少年育成町民会議・社会を明るくする運動町推進委員会による3団体合同で、“第69回社会を明るくする運動 美里町民の集い(美里町人権教育推進大会)”を開催。講師として、松本サリン事件の第一通報者の河野義行さんをお招きし、講話を実施した。 各種研究会への派遣については、令和元年10月の第48回熊本県人権教育研究大会(宇城市 ウイングまつばせ)への参加要請を行った。 各種研修会の開催については、令和2年1月に予定されていた行政職員を対象とした人権教育研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。		
予算額 決算額	100,000 円	決算額	100,000 円
担当課 自己評価	誰もが人権に対する学習や改めて人権について考える機会が必要であると考え、学習を通じて正しい知識や豊かな人権感覚を身につけることができると考えている。 総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等も、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を補助金が占めており、補助金については現状維持が望ましいと考えている。 また、行政職員を対象とした今後の人権研修会については、いろいろな差別を含めた講話や部落差別解消法の法律の施行に伴う研修内容を計画したい。		

(外部評価委員の意見) ・学校や行政だけでなく、地域住民の人権意識を高める上でも重要であると考え。 ・人権について考える機会を作り、さらなる推進を願う。 ・気が付かないうちに人を傷つける言葉を使ったり、差別や偏見を持つ事がある。人権について常に意識し行動するためにも研修は必要な事業だと思う。 ・人材教育は必要な事業と思う。
--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	青少年育成町民会議補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る。		
活動内容	補導部会と育成部会に分けて活動を行っており、補導部会は毎月1回の巡回指導を実施している。(本年度においては、ふるさと祭り補導は、天候不順のため中止、やまびこ祭りについては巡回指導を実施した。)また、学校の各学期末には会議を開催して、町内小中学校及び近隣の高等学校の生徒指導の先生と情報交換を行った。 育成部会については、子どもの育成を図ることを目的として、さくら健康フェスタ(元年度は中止)の共催や町PTA連合会で取り組んでいる子ども110番事業に対し、子ども110番の家の表示板の購入補助を実施した。		
予算額 決算額	予算額 256,000 円	決算額 256,000 円	
担当課 自己評価	総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等も多岐にわたり、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を補助金が占めており補助金については現状維持が望ましいと考えている。 また、子ども110番事業については、町PTA連合会と設置個所の情報を共有化し、地域の犯罪予防に努めていきたい。また、昨年度委員のみなさまからご意見を頂いたスマホ依存によるネットやライン、SNS等における青少年問題への啓発・教育事業については、子どもたち・子育て世代の保護者の方々、PTA等も含む全体で各種団体とも協議・調整し学習会や講演会等を実施したい。		

(外部評価委員の意見) ・スマホ依存が問題な現代において、ネットやSNS等における青少年問題への対応についての啓発や教育事業に継続して取り組んでいただきたい。 ・次世代を担う青少年の健全な育成のために、活動していただきありがたいと思う。 ・青少年の健全育成の為に巡回指導や情報交換が行われ犯罪予防に努められている。	
--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	放課後子ども教室事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	放課後等において、小学校の施設等を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
活動内容	町内全小学校において実施(3小学校) [中央小:児童(1年~5年)25人、スタッフ:6人、水曜日・金曜日実施]自由遊び、宿題指導、ニュースポーツ、ゲーム大会、季節の行事等 [励徳小:児童(1年~2年)9人、スタッフ:19人、月曜日・水曜日実施]宿題指導、昔遊び、ウェルカムボードづくり、季節の行事等 [砥用小:児童(2年~6年)]61人、スタッフ:7人、火曜日・木曜日(火・木前半は算数教室、木後半はバスケット教室)		
予算額 決算額	予算額 1,539,000 円	決算額 934,822 円	
担当課 自己評価	核家族化や地域の繋がりの希薄化や共働き世帯の増加する現状で、子どもたちの居場所づくりを地域住民の方々が参画して行う良い事業だと考えている。児童の学力やコミュニケーション能力の向上及び地域住民の生きがいづくりにも繋がっていると考えているので継続する必要がある、課題としてスタッフ数が減少しているため、今後はスタッフを確保する必要がある、スタッフの新たな発掘と共に後継者育成が必要であると考えている。		

(外部評価委員の意見)

- ・働く子育て世代のためにも放課後の子どもの居場所づくりは大切である。
- ・各校区において指導者の数に差がある。すでに実施されているかもしれないが、他町で放課後子ども教室事業を上手に運営されているところがあれば担当者に話を聞く等なされてみては如何だろうか。
- ・地域で子どもたちを育てていくことは、大事だと思う。スタッフの確保が大変だと思うが、頑張ってもらいたい。
- ・地域住民の参画により、子どもたちと地域住民の交流ができ、子どもたちや保護者の安心・安全のためにも継続が望ましい。
- ・地域住民の参画を得て行う事業で意義ある活動だと思う。今後もスタッフの確保に努めていただきたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	歴史探訪講座等の開催事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対し理解と関心が高まるよう歴史探訪講座(生涯学習講座)や説明会・研修会を開催する。		
活動内容	当初、元年度において歴史探訪講座を年4回実施(定員30名)を計画 第1回:第6回九州城郭研究大会in熊本2019(12月7日～8日)受講者14名 第2回:矢島四賢夫人と母鶴子の教育(1月27日)受講者12名 第3回～第4回については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止致しました。(第3回目に野生の会の発表会への参加・4回目に岩尾野城の現地探訪を計画していました)		
予算額 決算額	50,000 円	決算額	15,000 円
担当課 自己評価	美里町の歴史をより深く理解する機会の提供を行っている事業と考えている。歴史探訪講座等の開催については、予算額も少額であるため、堅志田城の学習を九州城郭研究大会in熊本2019に併せ開催。他県の城郭や歴史をはじめとする多種多様な文化財を住民の方々に理解して頂き、改めて町の文化財保護への意識を高めてもらう機会となったと思う。残念ながら3～4回については、開催中止となった。		

(外部評価委員の意見) ・美里町の歴史を知る良い機会だと思うので、町民に広く知られるような講座の開催をお願いしたい。 ・美里町の歴史・文化を理解すると共に、文化財保護意識の向上を願う。 ・美里町の歴史を知り、文化財保護への意識を高めることはよいことだと思う。研修を受けた後の文化財保護への関わりも必要ではないか。 ・本町の文化財に理解と関心を高める事業と思われる。
--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	美里町文化協会補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。		
活動内容	年1回の主催事業の実施と文化祭を開催した。主催事業については、7月に熊本工業高校吹奏楽部の演奏による七夕コンサートを実施し、約430名の方々が観覧された。コンサート開催時には、協会員の作品展示によるサークル展も同時に開催し、多くの方が来場された。 文化祭については、所属サークル52団体が展示の部、ステージ発表の部に分かれて開催した。展示の部については、発表の部の約1週間前から作品の展示を行い、多くの方の来場があった。発表の部については、11月3日(文化の日)に開催し、終日賑わった。		
予算額 決算額	325,000 円	決算額	325,000 円
担当課 自己評価	会員の方々の協力により、当初の計画通り、主催事業及び文化祭を実施することができたことは、評価できていると考えている。 総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等も多岐にわたり、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を会費・補助金が占めており、補助金については昨年度のご意見により増額を要望したが、現状維持が望ましいとの結果になった。		

(外部評価委員の意見) ・町民の文化的な活動を支援することは心豊かな町づくりとして必要である。更なる創意工夫をお願いしたい。 ・文化振興のために、さらなる創意工夫を望む。 ・文化祭等での作品展示やステージでの発表等、日頃の努力の成果を発表できる場所があり文化振興に役立っていると思う。 ・本町の文化振興に努められており、今後も行政の支援を行っていただきたい。	
---	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	社会体育係	第28回 美里町ナイター陸上競技記録会 (委託料)	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施。	270,000
2	社会体育係	第34回 中学校野球美里大会 (補助金)	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施。	150,000
3	社会体育係	令和元年度町民体育祭 (町体育協会予算)	広く町民にスポーツを普及し、健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。(球技の部11支部・スポーツ大会の部11支部対抗) (9月下旬から各種球技大会。体育の日前日：スポーツ大会の部)	438,099
4	社会体育係	第16回美里町駅伝競走大会 (町体育協会予算)	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性ある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。(10支部12チーム参加)	308,845
5	社会体育係	第49回 美里町新春霊台橋マラソン大会 (委託料・他)	走ることとはすべての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまですべての人に適切な運動である。新春にふさわしく、家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。 (町内参加者：65名・町外参加者：319名 計384名)	315,175
6	社会体育係	第40回宇城中学校新人駅伝大会	中学生の健全な精神と体力増強をめざし、各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組まれている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。(参加予定校 宇城管内10校、男子17チーム：女子16チーム)	56,386
7	社会体育係	第24回 中学生ソフトテニス美里大会	技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学生の育成と相互の親睦を図ることを目的に実施。	52,818
8	社会体育係	第48回 中学生女子バレーボール美里大会	宇城管内及び近隣の各市町の中学校バレーボール部の親睦、融和を深めるとともに、生徒の健全な育成を図ることを目的に実施。	115,452
9	社会体育係	第38回 宇城地区高等学校野球美里大会 (委託料)	高校生の健全な精神と体力を養成し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、地域社会への高校野球の正しい理解を得ることを目的に実施。	315,800

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第28回美里町ナイター陸上記録会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、8月4日(日)・美里町総合公園グラウンドにおいて、トラック競技21種目、フィールド競技3種目に町内外より111名(小学生24名・中学生70名・高校生及び一般17名)参加した。 ※参加費なし ※予算支出用途(消耗品費・仮設照明料等)		
予算額 決算額	270,000 円	決算額	270,000 円
担当課 自己評価	小中学生の練習の成果を発揮する場として有効と思われる。 特に、中学生にとっては9月に開催される中体連に向けて、個人の实力を知る恰好の機会であり意識の高揚にも繋がると考えられる。熱中症対策として、陸上教室を取りやめ開始時刻を遅らせ開催した。		

(外部評価委員の意見) ・小学生の参加人数が少なく、対象を中学生以上にする等、今後の方向性を考える時期ではないかと思われる。 ・熱中症対策等、参加者の立場で考えて開催されていて、小中学生の陸上競技の練習の成果を発揮する良い機会だと思う。 ・小中学生の体力向上や陸上競技の向上に努められていると思う。	
--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第34回中学校野球美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町中学校野球実行委員会」に補助金を支出し、9月7・8日(土・日)の2日間、美里町総合運動公園グラウンド、町営球技場において、中体連後の新人戦として宇城管内の中学校から9チームの参加で実施した。 ※参加費8,000円／チーム(砥用中、中央中を除く)(56,000円)は運営費に充当。 ※予算支出用途(メダル・消耗品費他) ※結果 優勝(鶴城中) 準優勝(松橋中)		
予算額 決算額	予算額 150,000 円	決算額 150,000 円	
担当課 自己評価	中体連後、夏休みの練習成果を試す有効な大会と思われる。また、参加校を宇城管内のみに見直して実施しているが、部員の減少による合同チームが増えることも予想されるので大会の縮小、参加地域の検討が必要と思われる。		

(外部評価委員の意見) ・近隣中学生徒同士の交流、親睦という意味では結果以上に成果となると考える。ただ部員の減少、地域現状の格差等を踏まえると大会の縮小、参加地域の検討は必要ではないか。 ・町内においては、中央中・砥用中共に、単独チームで参加できて、良かったと思う。近隣中学校との親睦を深める良い機会だと思う。 ・実行委員会と協議し実情にあった大会運営に努めていただきたい。	
--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	令和元年度町民体育祭	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	広く町民にスポーツを普及し健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。		
活動内容	9月17日(火)から10月2日(水)の間、美里町総合運動公園グラウンド・カントリーパークグラウンド・美里町総合体育館・砥用中体育館・砥用小学校体育館において開催した、球技の部(4種目・11支部)に述べ656人が参加。10月6日(日)美里町総合運動公園グラウンドで開催予定だったスポーツ大会の部(11支部参加)に延べ1,605人が参加した。 ※参加費なし ※予算支出用途(施設使用料・種目協会運営費・消耗品費等) ※結果 球技の部 優勝(都原支部) 2位(三溪支部) 3位(中央支部) スポーツ大会の部 優勝(畝野支部) 2位(浜戸川支部) 3位(東部支部)		
予算額 決算額	予算額 550,000 円	決算額 438,099 円	
担当課 自己評価	事業目的達成のためには意義ある大会であると思われる。参加人員は若干減少しているものの例年と変わらず、今後も支部の再編及び幅広い年代が参加出来るよう種目等の見直しも必要と考える。		

(外部評価委員の意見)

- ・午前中で終わるようなプログラムに変更しても良いのではないかと。球技の部においても種目の見直し等が必要ではないか。
- ・支部の再編成により、支部数を少なくすることで、プログラムを増やして、幅広い年代が参加できると思う。
- ・少子高齢化等で参加人員の減少が見受けられる。また、会場が近ければ参加するが、遠ければ不参加という人もいる。人口減少で参加人員の増加は見込めないが、町民の交流には必要な事業だと思う。
- ・町民の健康増進と町民間の交流に寄与していると思われる。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第16回美里町駅伝競走大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性のある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、12月8日(日)町内駅伝コース(14区間・全長27.2km)において、町内10支部より12チームが参加して実施。 ※参加費なし。 ※予算支出用途(区間賞メダル・ゼッケン・役員弁当代等) ※結果 優勝(西部支部A) 2位(畝野支部) 3位(浜戸川支部)		
予算額 決算額	予算額 310,000 円	決算額 308,845 円	
担当課 自己評価	町民の関心も高く地域の連帯感を醸成するのには効果があると思われる。 また、郡市対抗駅伝大会の選手選考の良い機会と考える。 今後は中継所の見直しを含め事故防止については十分検討し配慮したい。		

(外部評価委員の意見)	
・地域により実施について意欲及び参加者の実情が異なると考えられる。高齢化が進む中、地域の要望に応えながら、無理をせずに安全な実施に配慮してもらいたい。 ・支部によっては、選手選考に大変苦勞されていると聞く、支部の合同チームでの参加も検討して頂きたい。大会時の事故防止に十分注意して頂きたい。 ・参加者も多く事業実施は必要だが、スタッフの負担も考慮すべきと考える。 ・現状維持考えられるが、区間や区間距離の変更の見直しも必要ではないか。	

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第49回美里町新春霊台橋マラソン大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	走ることは全ての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまで全ての人に適切な運動である。新春にふさわしく家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、1月1日(水)美里町総合運動公園グラウンド発着コース(13種目・男女年齢別)において、町内外より384人(町内65人)が参加して実施。 ※参加費 高校生以上1,000円/人(*205人=205,000円) 小中学生500円/人(*158人=79,000円) 未就学児(無料)*21人 合計284,000円(前年比17,500円減) ※参加費は、一般会計の歳入(雑入)として処理。 ※予算支出用途(参加賞・メダル・賞品・ゼッケン・インク等)		
予算額 決算額	予算額 377,000 円	決算額 315,175 円	
担当課 自己評価	町内帰省中の参加者や毎年楽しみにされている町内外からの参加者等もあり町のPRには効果があると思われる。しかし、大会運営上、年末から年始にかけての準備・大会となり、期日の変更についての声も聞かれる。関係団体等と協議を行っているがどんど祭りや熊日駅伝等恒例行事が開催されるため、期日の変更及び運営の内容を検討する必要があると思われる。		

(外部評価委員の意見)

- ・参加者が前大会から減少している。年末年始の開催はスタッフの負担が大きく、今後は開催時期や内容も含めて検討すべきではないか。
- ・大会に伴う準備や当日の役員等、多大な負担がかかっていると思う。期日の変更を望む。
- ・期日の変更や運営内容を早急に検討していただきたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	--

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第40回宇城中学校新人駅伝大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と体力増強をめざし各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組まれている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施。		
活動内容	2月23日(日)町内駅伝コース(男子・6区間・18km)(女子5区間・12km)において、宇城管内の中学校より男子17チーム(中央中2チーム・砥用中2チーム)、女子16チーム(中央中2チーム・砥用中2チーム)が参加して実施予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 ※予算支出用途(レプリカ・メダル・ゼッケン代等)		
予算額 決算額	予算額 101,000 円	決算額 56,386 円	
担当課 自己評価	新チームになって冬季の練習の成果を試す良い機会と考える。 安全面については、事故等が発生しないよう十分配慮したい。また、大会開催の経緯等を考慮しながら、大会参加費を徴収することとした。		

(外部評価委員の意見) ・生徒同士の親睦が深まるような大会にしていきたい。町内中学生徒が減少するなか、このままの方向性で開催できるのか今後は検討していくことも必要であるとする。 ・開催時期も良い大会だと思う。周回コースのため、安全性も確保できていると思う。 ・今後も安全面に十分配慮して実施していきたい。	
---	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第24回中学生ソフトテニス美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学生の育成と相互の親睦を図ることを目的に実施。		
活動内容	5月3日(祝)に、美里町カントリーパークテニスコートにおいて、中体連前の練習成果の確認の大会として県内各地の中学校から、男女各12チームの参加により開催した。 ※参加費2,000円／チーム(44,000円)は一般会計の歳入(雑入)として処理。 ※予算支出の用途(入賞賞品、消耗品費、役員弁当代) ※結果 男子 優勝(八代四中) 準優勝(鶴城中) 3位(中央中・七城中) 優勝(七城中) 準優勝(湖東中) 3位(中央中・八代二中)		
予算額 決算額	予算額 57,000 円	決算額 52,818 円	
担当課 自己評価	中体連に向けての練習の成果を試す有効な大会と思われる。県内の強豪校が参加することで町内の中学校のレベルアップにも有効と思われる。		

(外部評価委員の意見) ・ソフトテニスが盛んな美里町において、生徒が日ごろの成果を発揮するいい大会だと考える。カントリーパークテニスコートの人工芝も張替が行われている最中で、次大会は新しいコートでの大会となるのでぜひ上位入賞を目指して頑張ってもらいたい。 ・中体連の前哨戦として、練習の成果を試す意義ある大会だと思う。 ・練習の成果と今後の練習に向けて励みになる大会と思われる。	
--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第48回中学生女子バレーボール美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	宇城管内及び近隣の各市町の中学校バレーボール部の親睦、融和を深めるとともに、生徒の健全な育成を図ることを目的に実施。		
活動内容	5月25日(土)に、美里町総合体育館において、中体連前の練習成果の確認の大会として宇城管内及び近隣市町から、11チームの参加により開催した。 ※参加費2,000円／チーム(22,000円)は一般会計の歳入(雑入)として処理。 ※予算支出の用途(入賞賞品、審判謝金、消耗品費、役員弁当代) ※結果 優勝(小川中) 準優勝(鶴城中) 3位(砥用中・中央中)		
予算額 決算額	予算額 116,000 円	決算額 115,452 円	
担当課 自己評価	中体連に向けての練習の成果を試す有効な大会と思われる。部員数の減少により合同チームの参加もあり、今後も参加チームの減少が予想されるので大会の縮小もしくは参加地域の検討が必要と思われる。		

(外部評価委員の意見)

- ・バレーボール競技の大会が他にどれくら開催されているのかわからないが、練習の成果を発揮する貴重な機会で、保護者も観戦を楽しみにしている大会ではないだろうか。参加チームの減少等の問題点も考えられるが、できる範囲で開催を継続していただきたい。
- ・中体連の前哨戦として、練習の成果を試す意義ある大会だと思う。
- ・試合を通して近隣市町の生徒との親睦を深め、練習の成果を確認することができる事業だと思う参加地域を検討し継続してもらいたい。
- ・練習の成果と今後の練習に向けて励みになる大会と思われる。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成31年度(令和元年度) 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第38回宇城地区高等学校野球美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	高校生の健全な精神と体力を養成し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、地域社会への高校野球の正しい理解を得ることを目的に実施。		
活動内容	「宇城地区高等学校野球美里大会実行委員会」に委託料を支出し、5月31日(金)6月1日・2日(土・日)の3日間、美里町総合運動公園グラウンにおいて、夏の甲子園予選に向けた練習成果の確認の大会として宇城地区及び隣接の6校の参加により開催した。 ※参加費10,000円/校(60,000円)は一般会計の歳入(雑入)として処理。 ※予算支出用途(審判謝金・メダル・消耗品費他) ※結果 優勝(宇土高校) 準優勝(小川工業高校)		
予算額 決算額	予算額 339,000 円	決算額 315,800 円	
担当課 自己評価	夏の甲子園予選に向けて練習成果を試す有効な大会と思われる。部員不足による合同チームが今後増えていくことも考えられるため、高野連と協議しながら開催する必要がある。(大会の縮小、参加地域の拡大)		

(外部評価委員の意見) ・部員不足による参加チームの減少等を踏まえて今後の大会の在り方を検討していただきたい。大会とは別に町内中学生野球部と高校球児との交流ができれば美里町で開催する意味が深まるのではないかと。 ・参加高校の意向を聞き、開催について協議する必要があると思われる。 ・多くの試合を経験することは、技術向上に役立つため、参加地域を拡大して実施してもらいたい。 ・練習の成果と今後の練習に向けて励みになる大会と思われる。	
---	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------